

2月6日に、3年生は、老人クラブ14名の皆さんに昔のくらしのお話を聞きました。昔の家や学校での生活、校区の様子などを聞いた子どもたちからは、昔と今の生活の違いに驚きの声が上がっていました。和やかな雰囲気での学習が進み、子どもたちのたくさんの質問にサポーターの皆さんが、丁寧に答えてくださいました。子どもたちは、「今の生活が大変便利でありがたいことが分かった。昔の生活のよかったところも取り入れていきたい。」「昔の子どもの遊びは楽しそうだ。手伝いもたくさんしていたことが分かった。」「お店も近くになく不便だと思うが、昔の人の生活は、エコで工夫があると思った。」などと感想を述べました。



大獅子の話



1月31日に、3年生は、大獅子保存会の安西哲夫さんと安西弘さんに「大獅子」の話をお聞きしました。安西さんから、大獅子の由来や作り方、みんなで協力することや伝統を守っていくことの大切さについてお話がありました。獅子を動かすために30人は必要ですが、集落の人数がだんだん減っているそうです。お話を聞いた子どもたちからは「大獅子の中に入りたい。」「大獅子を作りたい。」という頼もしい感想が出ました。



大じしのことを教えてくださいましてありがとうございました。大じしを作るときにおずかしかったこととどうして作り直したのかよく分かりました。とくに心にのこったことは、大じしについての願いです。大じしには祭りを大切にしたい子どもたちに伝えよう、とほい、子どもたちに自分の住んでいるところを自慢してほしいという願ひがあることが分かりました。みなさんが、原真いもこめながら1年もかけて作ってくれたのが分かり大切にしたいと思いました。これからは、神社のお祭りやまんで願ひで大じしを見るときは、そういう願ひがこめられていることを感じながら見たいです。かたしが大きくな、ても、いつまでも大じしを大切にしていきたいと思いました。

ミシンに挑戦



5年生は、家庭科でエプロン作りをしました。大半の子どもたちは、ミシンを使うのが初めてで、期待と不安の入り交じった気持ちで、実習が始まりました。今年度は、12名のミシンサポーターさんが参加してくれました。ミシンの扱いに慣れていないことで、問題が起こることが多いのですが、今年は、サポーターさんのおかげで、安全にスムーズに作業を進めることができました。



ぼくは初めてミシンを使いました。むずかしいなと思っていましたが、サポーターさんが、ぬいぐるみの位置や返しぬいの方をアドバイスしてくれたので、楽しくエプロンを作ることができました。長尾さんが「いいよ。」と言ってくれたので、安心しました。



図書の本ひっこし大作戦

2月27日に、サポーターの皆さんも参加して、「図書の本ひっこし大作戦」をしました。全校生が南館の生活科室から北館の図書室まで一列に並び、バケツリレー方式で本を運びました。「はい、はい。」という息が合った元気な声が校舎中に響き渡りました。「終わり」を告げるぶたのぬいぐるみが回って来た時には、拍手と歓声が上がりました。新年度は、図書のバーコード管理が始まります。



おわりを知らせるぶたのぬいぐるみをリレーして



本物の音色を体験しよう

4年生の音楽の時間に、琴と尺八の体験授業を行いました。最初に、琴の悴山先生と5名のお弟子さん、尺八の西森先生が「桜変奏曲」の演奏を披露しました。子どもたちは、この優雅な演奏に聴き入っていました。琴と尺八の演奏体験では、尺八の音を出すことが思いのほか難しく苦労していましたが、とても楽しかったと笑顔で話していました。



演奏を聞いたときはかん単に音が出るような気がしていたけど、実際にやってみると、ことは強くはじかないと全然ならなくて、しゃくも口の形に気をつけたり息の強さにも気をつけたりしないといけなかったのでもすかしかったです。だからまたチャレンジしてみたいと思いました。

尺八の息の強弱がむすかしかったです。ことは強くはじくと大きな音が出て、弱くはじくと小さな音が出て、力かけると音のひびきや強弱がきまるのか分かりました。日本の楽器は、木や竹などの自然にあるものを上手に使っていると分かりました。

聞いているときはこのぐらいって思ったけど、実際にやるとむすかしかったです。先生はすごいと思いました。こととしゃくはいろいろな音が出たのでおどろきました。しゃくは、かかやコロコロという音などが出ると知っておもしろいと思いました。

しゃくはちでは、あまりにも力を入れてふくと、ぎゅくに口がいたくなったり、力を入れなくてふくと、ぜんぜんふけません。ことは力をいれて音をださないといけないけれど、こわいそうでした。先生が、やさしくもう少し力を入れてみて、と言ってくれたので、力を入れると音が出ました。

尺八は、ちょうどいい感じに息を入れるのがむすかしかったです。ことは指を動かす力が、分からなくて大きな音が出たり、小さな音が出たりして、むすかしかったです。ことと尺八のえんそうは、ひびきもよくて、音がきれいでした。

尺八は、なかなか音が出なくてむすかしかったです。でもだんだんやていくうちに音が出たのでよかったです。ことはたくさんの力を指に集中させたら上手にひけるようになりました。初めは、かんたんかと思ったりやてみるとむすかしかったです。どうやって音を出すのか不思議に思いました。もと「こと」と尺八をやてみたいと思いました。